

基礎法学Ⅰ

科目ナンバリング FUL-101
選択 2単位

中村 江里加

1. 授業の概要(ねらい)

法は私たちの日々の生活に密接に関わっています。法律に関する職業や公務員を目指す学生だけでなく、法的な知識によってトラブルを回避・解決するなど実生活に役立てることができるため、すべての学生にとって重要な学びの機会となります。各法分野の専門的な知識を身につける前提として、社会における法をめぐる全体像や、法に特有の考え方(リーガルマインド)を習得することを本講義の目的とします。

2. 授業の到達目標

(1)法制度や裁判制度に関する専門的知識や法律的な考え方(リーガルマインド)を習得する。
(2)私たちの生活に法がどのように関わっているのか理解する。(学生の皆さんが自ら疑問を持ち、理解を深める中で分析能力を養うことを期待します。)

3. 成績評価の方法および基準

(1)期末試験(60%)
(2)授業内に行う2回のリアクションペーパー・課題提出(40%)
期末試験問題は第1回から第14回までの講義内容から出題し、知識・理解の定着を評価します。授業への貢献として、授業の中でアクションペーパー・課題提出を2回求めます。リアクションペーパー・課題提出を通して、皆さんの理解を確認し、疑問点を明らかにします。

4. 教科書・参考文献

教科書

緒方佳子、豊島 明子、長谷河亜希子編 『日本の法(第2版)』 日本評論社

5. 準備学修の内容

毎回の講義に関する教科書の該当部分を示しますので、それを確認し、自分がどういった点に興味を惹かれるか、どこが難しいと感じるかを意識しながら目を通してください。復習として、分からなかった点や疑問に思った点をノートに箇条書きにしてください。不明点・疑問点については授業後に質問するか、リアクションペーパーに記入してください。

6. その他履修上の注意事項

・配布資料、教科書を必ず持ってきてください。※配布資料はLMS上で各自で印刷して持参してください(LMS上にある資料は配布しませんのでご了承ください)。
・試験当日は、配布資料、手書きノートのみ持ち込み可とします。

7. 授業内容

- 【第1回】 導入
- 【第2回】 どのような法があるか:法の種類・分類、世界の法系
- 【第3回】 日本の法律家、法律に関する職業
- 【第4回】 法の実現過程:制定、実施、裁判
- 【第5回】 法の機能:社会における法の機能(オンライン授業で行う。)
- 【第6回】 法の解釈、法的思考(リーガルマインド)
- 【第7回】 憲法
- 【第8回】 民法(所有権・契約法)
- 【第9回】 民法(不法行為法)
- 【第10回】 家族と法
- 【第11回】 刑事手続と法
- 【第12回】 経済活動と法
- 【第13回】 行政と法
- 【第14回】 労働法
- 【第15回】 期末試験、まとめ